



株式会社
岡山コンベンションセンター

中期経営計画

【2026年度～2031年度】

1 設立目的及び必要性

株式会社岡山コンベンションセンターはコンベンション施設の運営・管理、コンベンションの企画・誘致及びそれに付帯関連する各種サービスを提供する事業を営むことを目的として、2000年7月10日に岡山市が過半を出資する第三セクターとして設立されました。2001年6月に公の施設である岡山コンベンションセンター及びママカリパーキングが開設されて以来、その管理運営を担い、2006年4月から指定管理者として利用料金制による独立採算で運営を行ってきています。

施設オープン以来 MICE の誘致・開催をすることで大会主催者・参加者等による地域での高い消費効果はもとより、学会や研究発表を通じ新しい知識や技術が生まれる拠点となり、また「岡山」の国内外での都市ブランド力の向上に寄与してきました。

経営に関しては、岡山市以外にコンベンションの企画運営会社や観光分野における専門性の高いノウハウを有する企業、地元経済界を代表する岡山商工会議所が経営参画しており、公の施設に求められる公平・公正で公共性の高い管理運営に加え戦略的な事業運営を行ってきています。

2 役割

- 1) 岡山市の第三セクターとして公共性と営利性のバランスの取れた会社経営
- 2) 公平・公正で質の高い市民サービスの提供を実現する公の施設の管理運営
- 3) 地域経済の活性化に寄与する戦略的な MICE の誘致・開催支援
- 4) MICE の開催を通じた岡山市のプロモーション

3 現状と課題

コロナ禍の影響で2020年度以降3期連続の赤字となり、コロナ明けの2023年は若干の黒字転換となったものの、翌2024年度は特定天井の改修工事による4か月の休館もあり再び赤字となりました。2025年度は大型催事の減少やハイブリッド開催の定着、人件費や物価の高騰等もあり、経費削減を図りながらも厳しい経営環境が続いています。

コロナウィルス発生後の収支変動に見られるように、コンベンション施設は感染症をはじめ景気動向、災害等の外部要因に非常に弱く、また、築後25年が経過し、老朽化による維持管理費の増加やイベントがない日でも光熱水費、人件費が常時発生するためコストは思うようには下がらないという構造的な弱点もあります。

また、併せてコロナ禍後、ハイブリッド開催(リアル+オンライン)が定着してきた

ことにより、今までのリアルイベントでの会場貸しや飲食の提供といった収益が見込みにくくなっています。

周辺のコンベンションを取り巻く環境についてみると、近隣のコンベンション施設の開業や貸会議室の増加により、施設間での競争も激しくなることが想定される一方、将来的には駅東口の再開発事業によるホテルやコンベンション施設の整備により、岡山駅周辺の会議室(ホール)や宿泊施設が大幅に増加し、これまで課題だった大規模国際会議時の会議室、宿泊先等受入規模の拡大が期待されます。また、岡山駅前広場への路面電車乗り入れや、都市型アリーナの計画が進められており、MICE 開催に向けての環境が整えられつつあります。

利用形態の多様化や運営コストの上昇、そして今後ますます求められるサステナビリティに配慮した取り組み等を背景に、なお一層公共施設としての公益性を確保しつつ持続可能な経営を実現する戦略的運営が求められています。

総じてこれまでではどちらかという「箱貸し」に依存し、主催者側の状況に左右されやすい待ちの経営になっていましたが、これからはより付加価値の高いサービスが提供できる「記憶に残るコンベンション施設」を目指します。

4 あるべき姿と今後の方向性

- 1) 西日本を代表する選ばれ続ける MICE 施設
- 2) MICE を通じて岡山の学術振興・産業・観光振興に貢献
- 3) 地域とともに持続的に成長するコンベンションセンター

5 経営目標と具体的取組

- 1) MICE 誘致の強化

- ① 国際学会等の戦略的誘致

ア 健康、医療、福祉など都市機能が集積しているという岡山の強みを活かし、大学や医療機関と連携した大型案件の誘致

イ 岡山市、(公社)おかやま観光コンベンション協会と連携し、岡山ならではの体験型イベントを造成

KPI 学会・国際大会の誘致件数

2023 年度～2025 年度 13 件⇒6 年間で 30 件以上

2) 施設価値の向上・機能の高度化

① 業務のDX化

ア 予約管理、顧客管理システムの更新

イ 最新のAV・高速通信環境等への整備継続

KPI アンケートにおけるWeb環境満足度 90%以上

② バリアフリー、ユニバーサルデザインの最適化

KPI アンケートにおける設備、備品の満足度 90%以上

3) 柔軟で効率的な組織運営、持続可能な経営基盤

① 従業員一人ひとりの学びと成長を支援するとともに、組織パフォーマンスを最大限発揮できるよう適材適所の人員配置を行う。

ア 運営支援、企画提案できる人材の育成

KPI アンケートにおける担当者満足度 90%以上

イ 階層別研修、専門研修等外部研修への参加

② 働きやすい職場環境づくり

ア 安心して働ける個々が成長できるやりがいを感じられるウエルネスな環境づくりの実践(ex:月1回の1on1の実践)

KPI ストレスチェックにおける総合健康リスク
2031年度目標⇒100%以下

イ ワークライフバランスの実現

KPI 2026年度以降有給休暇取得率⇒100%

③ 会議室等の稼働率向上

ア 稼働率分析により平時・夜間・閑散期等使われていない時間帯の価値化を図り、施設全体の稼働率向上を目指す

KPI 2025年度稼働率 50%⇒2031年度目標 61%以上

④ 徹底した内部管理業務の見直しや効率化

ア 非効率な事務事業を見直し、ムリ、ムダを省き、業務改善につなげる

KPI 2025年度業務改善件数 1件⇒年間 3件以上

⑤ 収益構造の多様化を図る

ア 顧客ニーズに合った飲食関係のラインアップ充実

KPI アンケートにおける料飲関係の満足度 90%以上

イ 体験型の観光、文化プログラム等を開発、内製化し顧客単価を向上

KPI 2025 年度内製化件数 1 件⇒年間 1 件以上

ウ MICE 設備更新等に際しては各種補助金の活用を検討

4) SDGs への対応

① 「おかやま SDGs プラザ」の利用拡大

KPI プラザを活用した主催・共催事業実施件数
2025 年度 3 件⇒年間 5 件以上

② 設備更新時には省エネ機器を選定し、こまめな消灯等を行う等の節電対策

③ 主催者、飲食等納品業者と使い捨てプラスチックの削減等環境配慮型への変更を協議

5) 地域連携の強化

① 地元宿泊、飲食、交通事業者等との連携による開催

KPI 2023 年度～2025 年度 11 件⇒ 6 年間で 25 件以上

② 地域企業、学校、病院等と協働しての市民の学びや交流の場の創出

KPI 2025 年度協働で取り組んだ件数 2 件⇒6 年間で 15 件以上

③ 岡山駅周辺エリアでのおもてなし

ア MICE 参加者への共通利用券の利用促進

KPI 2025 年度共通利用券販売件数 2 件⇒6 年間で 20 件以上

イ 大会への歓迎ムードの醸成につながる取組

KPI 2025 年度取組み件数 5 件⇒6 年間で 30 件以上

6) 経常利益

(単位:百万円:税抜)

| 区 分 | 2025 年度 (見込) | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 | 2030 年度 | 2031 年度 |
|------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 稼働率(%) | 50 | 53 | 54 | 56 | 57 | 59 | 61 |
| 室料売上 | 291 | 320 | 320 | 324 | 333 | 338 | 343 |
| 備品売上 | 69 | 75 | 75 | 75 | 75 | 76 | 76 |
| 料飲売上 | 103 | 96 | 96 | 104 | 105 | 106 | 107 |
| ママカリパー キング売上 | 79 | 85 | 96 | 96 | 97 | 98 | 99 |
| 受託事業他 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 西口パーキ ング売上 | 136 | 137 | 138 | 138 | 139 | 140 | 141 |
| 売上計 | 685 | 720 | 732 | 744 | 756 | 765 | 773 |
| 仕入・売上 原価 | 107 | 100 | 106 | 111 | 112 | 113 | 114 |
| 指定管理 納付金 | 30 | 30 | - | - | - | - | - |
| MICE 資金 | 95 | 86 | - | - | - | - | - |
| 営業費(国際 会議支援等) | - | - | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| その他販売費・ 一般管理費 | 437 | 496 | 514 | 526 | 535 | 541 | 547 |
| 経費計 | 669 | 712 | 635 | 652 | 662 | 669 | 676 |
| 営業利益 | 16 | 8 | 97 | 92 | 94 | 96 | 97 |
| 営業外利益 | 20 | 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 営業外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常利益 | 36 | 22 | 98 | 93 | 95 | 97 | 98 |

* 本計画期間には、2027 年度以降の指定管理期間が含まれているため、現時点における指定管理納付金等は計上していない。